

国際日本文化研究センター運営会議（第70回）議事要旨

日 時：令和5(2023)年6月16日（金）13:30～15:36

場 所：国際日本文化研究センター第1共同研究室等（Zoom会議）

出 席：クレインス・フレデリック（議長）、青木 淳、赤松 玉女、荒木 浩、牛村 圭、金水 敏、楠 綾子、グラムリヒ=オカ・ベティーナ、関野 樹、タイモン・スクリーチ（途中入室）、高木 博志（副議長）、瀧井 一博、竹宮 恵子、十重田 裕一、本郷 恵子、松田 利彦、松原 隆一郎、三谷 博、劉 建輝の各委員

陪 席：井上所長、里見管理部長、山口総務課長、荒堀財務課長、小野研究協力課長、舟本資料課長、橋本情報課長、永田総務課課長補佐、塩見人事係長、中山総務企画係員、山戸総務課事務補佐員

議 事：

1. 審議事項

(1) 議事要旨（案）について

クレインス議長から、「運営会議（第69回）議事要旨（案）」（資料1）に基づき確認があり、一部修正のうえ、承認された。

(2) 所長候補者選考委員会について

クレインス議長及び所長候補者選考事務局長（管理部長）から、「人間文化研究機構国際日本文化研究センター 所長候補者選考スケジュール（案）」（資料2）及びに「所長候補者選考について」（別冊1）に基づき説明があり、審議の結果、スケジュール案のとおり承認された。

次に、クレインス議長から、国際日本文化研究センター運営会議規則第6条に基づく所長候補者選考委員会の設置、及び国際日本文化研究センター所長候補者選考委員会規則第2条に基づく選考委員の指名が行われ、選考委員会は、荒木委員、楠委員、クレインス委員、本郷委員、松田委員で組織されることが承認された。

最後に、クレインス議長から、所長候補者となるべき者の推薦を所定の様式により、7月14日（金）までに議長宛てに行うよう運営会議委員へ依頼があった。

(3) 研究教育職員人事について（インスティテューショナル・リサーチ室助教）

松田委員から、「研究教育職員人事について インスティテューショナル・リサーチ室助教候補者」（資料3、別冊2）に基づき、孫 詩彧（そん しいく）氏（北海道大学創成研究機構・大学院教育学研究院特任助教）の選考経過及び経歴、業績等について説明があり、同氏をインスティテューショナル・リサーチ室助教候補者に推薦する旨説明があった。

説明終了後、委員による投票を行った結果、同氏のインスティテューショナル・リサーチ室助教採用について承認された。（※）

※就任予定日：令和5(2023)年8月1日以降できるだけ早い時期

(4) その他

なし

2. 報告事項

- (1) 国際日本文化研究センター憲章の制定について
松田委員から、「国際日本文化研究センター憲章の制定について」(資料4)に基づき報告があった。
- (2) 国際日本文化研究センター学術奨励賞について
松田委員から、「国際日本文化研究センター学術奨励賞規程」(資料5)に基づき報告があった。
- (3) 令和5(2023)年度 活動計画及び活動概況報告について
瀧井委員から、「令和5年度活動計画及び活動概況報告について」(資料6)に基づき報告があり、竹宮委員から、木曜セミナーについて、大学院生等も聴けるようにするなどして、日文研をもっとたくさんの方に知ってもらえるような発信の仕方を考えるべきではないかとの発言があった。
- (4) 共同研究会のタイトル変更について
瀧井委員から、「令和5(2023)年度共同研究一覧」(資料7)に基づき報告があった。
- (5) 令和5(2023)年度運営会議開催日程について
総務課長から、「令和5年度 国際日本文化研究センター運営会議 開催日程」(資料8)に基づき報告があった。
- (6) 研究教育職員等の現員等について
総務課長から、「研究教育職員等の現員等について」(資料9)に基づき報告があった。
- (7) 令和6(2024)年度概算要求について
松田委員及び財務課長から「令和6年度概算要求(組織整備)デジタル技術を活用した国際的ネットワーク構築を推進するコーディネーター採用構想(案)」(資料10)に基づき報告があり、三谷委員から、20代・30代で面白いアイデアを持つ優秀な逸材を、国籍を問わず日文研は総力を挙げて探し出してもらいたいとの発言があった。
- (8) 令和5(2023)年度科学研究費助成事業の受入れについて
研究協力課長から、「令和5年度科学研究費助成事業 課題一覧」(資料11)に基づき報告があった。
- (9) その他
なし

3. その他
なし

以上